

消防団辞令交付式

新入団員 30人 任期退職者 19人 平成24年度総員 567人

4月1日(日)、和水町中央公民館で平成24年度和水町辞令交付式が行われました。

式では、まず坂梨町長が高岡成輔団長に団長任命の辞令を交付、その後、高岡団長が幹部団員と新入団員に辞令を交付しました。それから、新入団員を代表し、第4分団第2部の高木大輔団員が、町民の安全を守るために力を尽くすことを力強く誓ってくれました。その後、新入団員は、有明消防本部職員の指導のもと、消防規律訓練を受けました。

また、多年にわたり消防団員として活躍され今回任期退職される消防団員に、高岡団長から退職辞令の交付、坂梨町長から感謝状と記念品が授与されました。

退職者を代表し、前副団長の竹下庄太郎さんから、消防団活動の思い出と、今後も和水町消防団へOB団員として指導と協力を約束していただく内容のお言葉をいただきました。

※式の冒頭で、昨年8月30日和水町西吉地で発生しました建物火災に際しまして、ご功労のありました西吉地の向 龍弘さんに、坂梨町長から感謝状が授与されました。



消防団辞令交付式

和水町鳥獣被害対策実施隊の設置

3月15日(木)、鳥獣による農作物被害が深刻化していることから和水町鳥獣被害対策実施隊が設置され委嘱・任命式が行われました。

式では、坂梨町長からJA職員2名、町職員14名の合計16名の隊員に辞令が交付されました。隊員を代表して、吉田広志隊長から、被害防止のための啓発活動や被害状況の調査などを行って農作物被害の軽減を目指すとの決意表明がありました。



鳥獣被害対策実施隊任命式

交通安全を願って ～新1年生に黄色の帽子寄贈～

4月3日(火)、町商工会青年部(田尻真一郎部長)から新入学児童に登下校時に着用する黄色い帽子が寄贈されました。

町商工会青年部が地域貢献活動の一環として毎年行っています。

今年は、田尻部長が訪れ、教育長に手渡されました。黄色い帽子をかぶって登下校する児童の姿を見られたら、日頃以上の安全運転に心がけましょう。児童のみなさん、交通安全に気を付けて通学してくださいね。



商工会青年部から黄色の帽子贈呈

和水町原動機付自転車の 「ご当地ナンバープレート」デザイン決定

「和水町」を町内外に広くPRするために原動機付自転車等の「ご当地ナンバープレート」のデザインを、県内にデザイン科を有する学校などにデザイン画を募集し決定しました。新しいナンバープレートの交付は秋頃を予定しています。

決定したデザインは、熊本デザイン専門学校生徒の松崎有里恵さんの作品です。

デザインのコンセプトは、「和水町の町花である『ひまわり』を前面に押し出し、なおかつ標識としての最大の目的である見やすさにこだわりました。デザインのかかわらしさを重視しました。」ということです。



ブックスタート事業を行っています

ブックスタートは、1992年にイギリスで始まりました。日本では、2001年に12市町村が実施を始め、現在全国各地に広がっています。

ブックスタートとは、赤ちゃんのまわりで、楽しくあたたかいひとときが持たれることを願い、一人ひとりの赤ちゃんに絵本を開く楽しい体験といっしょに、絵本を手渡す活動です。

和水町では、平成21年度から7ヶ月児健診時に町内の読み聞かせボランティアの皆さんにご協力をいただき、絵本の読み聞かせや、絵本の手渡しを行っています。



絵本の読み聞かせの様子

地域おこし協力隊

今年度の和水町地域おこし協力隊員として、大塚秀一さん(前住所：愛媛県松山市)古川寛さん(前住所：奈良県大和郡山市)に坂梨町長から委嘱状が交付されました。

大塚さんは、下津田地区に古川さんは下津原菰田に入り、町内で農村生活体験など都市との交流事業の企画や、空き家対策に係る調査・検討、地域づくり団体等の活動支援など地域おこしに関わる活動に携わっていきます。

◆地域おこし協力隊とは？◆

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的として、総務省が取り組みを推進するものです。



大塚 秀一さん



古川 寛さん